

伝統工芸士 折橋治樹氏による

高岡の伝統工芸品

あおがいぬ らでん

漆器青貝塗り(螺鈿) 貝の加飾体験 ～世界に1つだけの作品をつくろう～

体験時間60～90分

端午の節句のミニパネル『兜』



(オプション仕様)

台座を、白木から黒又は朱塗りにするとお名前を入れることができます！



(基本仕様)

ミニパネルサイズ:5.0×6.5cm、
台座:白木

4.16(水) 10:00～

《定員》5名以上～10名程度

=事前予約制=

公式LINEよりお申し込みください。⇒



《体験料》2,000円

《材料費》4,000円(基本セット)

《別途料金》

- ・お名前を入れる場合(オプション)の材料費:1,000円
(黒又は朱塗りの「台座」、及び名前入れ用の「貝」)
- ・送料(職人による仕上げに2週間要します)

※申込み人数が定員に達しない場合は、体験講座を中止することがございます。その場合は、当倶楽部の公式LINEから中止の旨をご連絡します。

しろがね くらら
会場:白銀家(蔵楽)

富山県高岡市山町筋重要伝統的建造物群保存地区

「土蔵造りの町屋」(高岡市小馬出町30番地)

主催/お問い合わせ 小馬出クラシック倶楽部「蔵楽」

担当:白銀 Web: <https://saponavitakaoka.jp/group182/>

おりはしはるき

折橋治樹/伝統工芸士

高岡市在住。武蔵川義則氏に師事。

高岡短期大学造形研究課程修了。

2001年伝統工芸士(加飾部門)認定。

1992年「螺鈿工房おりはし」設立。

青貝(アワビなどの貝殻を研磨したもの)

の持つ神秘的な輝きを活かすために

一枚一枚見極め、伝統的な技術を元に

自由な発想で新製品を開発し、新しいライフスタイルを提案している。

また、青貝の持つ繊細な美しさを多くの人々に知ってもらうため県内外に

出向き、実演、体験活動も行っている。20年前からは高岡市内小中学校

の「ものづくりデザイン科」の授業にて数多くの子供達を指導。2018年

日本伝統工芸士会(功労者)、2022年日本漆器協同組合連合(組合功

労者)表彰。2016年富山県伝統的工芸品展金賞、2020年県デザイン

協会理事長賞受賞、2022年日本漆器共同技術技法賞受賞。



Access

所在地/高岡市小馬出町30番地

- あいの風富山鉄道「高岡駅」から徒歩約15分
- 万葉線「片原町」または「坂下町」下車徒歩約3分
- 専用駐車場はありません
- 山町筋観光駐車場、市営御旅屋駐車場などをご利用ください

